

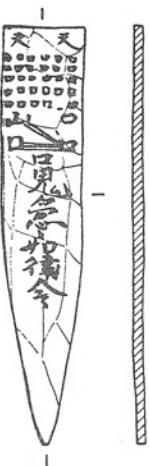


(横須賀)  
遺跡の東側には今小路の路

## 神奈川・千葉地遺跡

ちばち

- 1 所在地 神奈川県鎌倉市御成町一五ノ五
- 2 調査期間 一九八〇年(昭55)三月~九月
- 3 発掘機関 千葉地遺跡発掘調査団
- 4 調査担当者 手塚直樹
- 5 遺跡の種類 武家屋敷跡、寺院跡
- 6 遺跡の年代 一二世紀~一四世紀
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



- 8 木簡の釈文・内容
  - (1) 「口口口口口  
天口口口口口口  
天口口口口口口口山口  
」

「口鬼」は「屨」一文字とも考えられる。

9 関係文献

千葉地遺跡発掘調査団『千葉地遺跡』(一九八一年)

168×31×4 051

(手塚直樹)

が南北に走る。

調査では五回にわたる整地、地業を行った生活面(一二世紀中期~一四世紀末期以降)が確認された。

遺構は掘立柱建物跡、道路、溝、井戸、土壙、基壇状遺構などが検出されている。遺物は舶載陶磁器、国産陶磁器、将棋の駒二点を含む木製品、漆器などが多数発見された。

呪符は第四面(一二世紀末)上より、遺構とともにわないので発見された。なお他に柱根一点に墨書がみられたが判読不能である。